



2019 近畿中部 SS ラリー選手権 全戦完走 学生コ・ドライバー誕生



モータースポーツは、人が現代科学・工業技術の粋を集めた自動車を使って物理限界そして精神の限界に挑戦するという、まさに筋書きのないドラマそのものだ。

2019シリーズはマスターピース様からのタイヤ EMGL 様からはエンジンオイルの提供を受け全戦完走、2 戰入賞の結果となった。

ラリーは決められたルートを決められた指示に従って走破する競技。スタートは間隔を開けて1台ずつ出走。従って自分が速く走っているか遅いのかは目では分からぬ。指示書に従って最も少ない誤差で走ることができれば優勝！ラリーのコースは未舗装路も多く含まれ、指示書通りにはなかなか走れない。ナビゲーター（コ・ドライバーとも言う）はドライバーに色々な情報を伝えながら、ドライバーはその情報に基づいて正確に運転操作をしながら走る競技だ。

2019 年の結果報告

JAF 公認 近畿中部 SS ラリーシリーズ全戦完走！

- | | |
|--------------------|---------------|
| 3月:新城ラリー (完走) | 5月:丹後ラリー (完走) |
| 6月:いなべ東近江ラリー(6位入賞) | 9月:神大ラリー(完走) |
| 10月:シロキヤラリー (5位入賞) | |



SSラリーの主な流れ

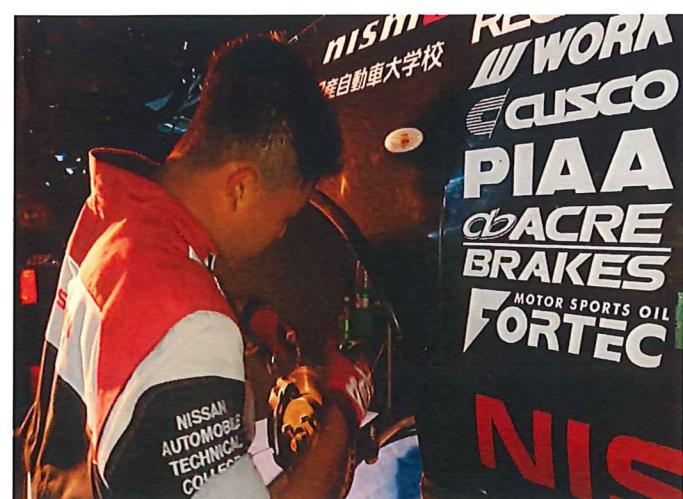
ラリーの競技区間である「スペシャルステージ」は、スタートとフィニッシュはもちろん、途中の走行状況や緊急時の対応、競技中に関係者以外が入らないようにするオフィシャルと呼ばれる人員が配置され、ラリー期間中常に管理されています。ラリーカーの整備などを行う「サービスパーク」、大会事務局が置かれる「ヘッドクオーター」、車両を一時的に保管するための「パルクフェルメ」などは、開催地周辺の施設や駐車場などに設置されます。また、主催者やラリーに関係する企業、地元の飲食店などが集まる「ラリーパーク」が置かれるラリーもあります。地元自治体が実施する祭りなどと連携するなど地域の協力を得ることでラリーは開催されているのです。

スペシャルステージ

スペシャルステージ(SS)は全開のタイムアタック区間です。ドライバたちが技量の限りを尽くして駆け抜ける様は迫力満点。ステージのタイムはスタート地点とフィニッシュ地点に設置された光電管で、10 分の1秒まで計測されます。(自動車競技部エリアで SS 動画放映中)

サービスパーク

車両の修復やセッティング変更を行う場所がサービスパークです。大きくダメージを受けた車両をみると修復していく熟練メカニックの手際はまさに“プロの仕事”。学生メカニックも腕の見せ所です。



第 40 回神大ラリーでコ・ドライバーを学生が勤め上げる

今年度も学生メカニック達のサポートを受けシリーズを全戦完走することが出来た。

『令和元年』ラリー活動は三年目を迎 NATC・ACC ラリーチームも他のエントラントやラリー主催者にも多く知られる存在となった。当然のように毎回の競技で完走を果たしているのは学生メカニックによるメンテナンスやサービス作業の成果によるところが非常に大きいと言うのは言うに及ばない。

1日に数 100Km の過酷な道のりを走りきる為には的確な情報と整備力が必要不可欠であり、レッキ終了後からスタートまでの整備、ラリー中のサービスの決められた時間でのメンテナンスにおいて



学生メカニックは今年も完璧な働きをしてくれた。2019年初のナイトサービスも体験。

第 40 回神大ラリーでは遂に学生がコ・ドライバーで参戦する事となった。自動車が通常走行するスピードよりも遥かに高い速度域で競技を行う車内において正確にペースノートを読み上げ完走できたのは、集中力と強い精神の成せる業だ。

次年度からは学生コ・ドライバーをスタンダードに活動を継続していく計画をしている。



自動車競技部のその他の活動



競技車両のメンテナンス、修理・改造を主な活動とし毎週木曜に活動している。

シーズン中は鈴鹿サーキットで行われる F-1 や SUPER GT、8耐等のコースオフィシャルを行い、国際レースの運営をサポート。

カートライセンス、国内 B 級ライセンスを取得し練習走行会やセントラルサーキットでの耐久レースに参加するなど、自動車競技にとことん参加しまくっている。今年度より近畿クラブマンのレース運営にも参加。

年末に行われるセントラル耐久では毎回完走を果たし、過去には入賞経験もある。レース開催日には OB も応援に駆けつけ、活動のサポートをしてくれるなど、アットホームなクラブとなっている。



日産・自動車大学校自動車競技部

@NATCmarchracing

#NATC・ACC